



大沢会長と知夫里島で



新築になった松江支店での講演



景勝 国賀めぐり



新築移転祝賀会 玉造温泉「玉泉」

じよじさんのお楽しみ日記 ④

「隠岐の島研修旅行」の巻

台風の接近が予想される九月二日、私にとって四十年振りの隠岐旅行に出発しました。

今回の旅行は、日本食研(株)松江支店の新築移転祝賀会を兼ねたツアーです。メンバーは日本食研の社員の皆さん、そして大沢会長が主宰されている勉強会「成経会」そして親睦目的の「月一ゴルフの会」の合同旅行でした。(もちろん私は月一ゴルフのメンバーとして。)(笑)

まずは松江支店へ、三十名の社員の皆様の気持ちよい出迎えを受けて、事務所の見学後、大沢会長から一時間余り、創業からのご苦労やいかにして発展できたか商売の心構え等お話を頂きました。夜は玉造温泉「玉泉」で社員さんと家族、来賓の山陰放送坂口社長さん等をお迎えして盛大なパーティーとなりました。

三日、フェリーで隠岐へ出発しました。隠岐は日本海に浮かぶ隠岐諸島(八十一島)から成り、人が住んでいる島は四島で島前、島後に分類されています。古代には隠岐国として自立的な地域を形成しました、遠流の国として知られています。

承久三年(一二二一年)には後鳥羽上皇が流され、元弘二年(一三三二年)には後醍醐天皇が流された島として有名であると共に風光明媚な景観、特に国賀海岸めぐりは絶景です。

さて、私達はまず島前の知夫里島に上陸、人口は六〇〇人、牛六〇〇頭、たぬき二〇〇匹、細い道路を大型バスで観光しました。

二泊目のお宿は西ノ島の美田です。十七時から大沢会長の講演、大沢語録は実践した足跡でお話毎にうなづく感動のお話でした。その後、日本食研社員の「両親から島の歴史や現状についてお話を頂きました。

四日は国賀海岸めぐり、牛突き、ロック島等を観光後、西郷に泊まりました。九月五日心配していた台風も大沢会長のパワーに恐れをなしたのか亜熱帯低気圧となり予定通り、無事松山に帰ることが出来ました。

中村 剛志

平成28年10月号

